

2024年12月18日(水)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆年収650万円超も年金減、国庫負担なしで 基礎年金上げ

・厚生労働省は基礎年金の水準を底上げする改革を巡り、追加の国庫負担を投入しない場合の試算まとめる。本来の底上げ策では、将来の年金額が現行制度の見通しより減る厚生年金受給者は年収1110万円超の高所得者に限られていたが、国庫負担がなければ650万円超の人に拡大。平均的な受給水準も約4%下がる。

◆補正予算13.9兆円成立 電気・ガス補助1月再開

・政府の経済対策を裏付ける2024年度補正予算が参院本会議で、自民、公明両党や国民民主党、日本維新の会などの賛成多数で可決、成立。一般会計の歳出総額で13兆9433億円を計上。補正予算の規模は前年度の13兆1992億円を上回る。歳入は半分近くにあたる6兆6900億円を新規に国債を発行して賄う。

◆公取委が6510事業者注意 価格転嫁で優越的地位乱用恐れ

・公正取引委員会は受注事業者との価格転嫁の協議に十分に応じなかった6510の発注事業者に対し、注意喚起の文書を送付したと発表。独占禁止法の「優越的地位の乱用」を未然に防ぐ狙いがある。注意喚起の送付数は昨年度から2割減。主に2023年6月から24年5月にかけての取引を調査。およそ12万の事業者が対象。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆原発・再エネ「最大限活用」に転換 次期エネ計画原案

・経済産業省は次期エネルギー基本計画の原案を示した。2040年度の発電量に占める原子力発電所の割合は2割程度を維持し、再生可能エネルギーは4～5割程度に上げる。生成AI(人工知能)の普及による電力需要の対応と脱炭素の両立を図るため、原発を再生エネとともに「最大限活用」、原発建て替え要件も緩和。

◆太陽光パネルリサイクル、製造者が費用負担 政府方針

・環境省と経済産業省は太陽光パネルのリサイクル義務化に向けた制度の概要をとりまとめた。リサイクルに必要なお金は製造業者や輸入業者が負担し、解体費用は所有者が支払う方針で一致。今後、パブリックコメント(意見公募)を経て正式に決定する。2025年の通常国会に関連法案を提出する方針。

◆ダイキン、インドでも空調部品事業 台湾メーカーと合併

・ダイキン工業はインドで空調部品事業を始めると発表した。2025年2月ごろをめぐりに台湾の部品メーカー、瑞智精密(レイチ社)と合併会社を設立し、インドの空調メーカーに部品を供給する。25年6月までに米国でも現地の部品メーカー、コーブランド社と合併会社を立ち上げる計画で、海外で部品事業の拡大を急ぐ。

《 注目商品 》

■ダイソン、NO2(二酸化窒素)を1.5倍除去する空気清浄機

・ダイソンの空気清浄機で最上位となる「De-NOxシリーズ」を販売。汚染物質である二酸化窒素を従来のダイソンの空気清浄機シリーズに比べて1.5倍多く除去、1台で空気清浄機、扇風機、ヒーター、加湿器など何役もこなす製品をラインナップ。



■ハウステック、バイカラーの扉が選べるキッチン

・デザイン性とコストを両立させたシステムキッチンの新商品「Crute(クルート)」を9月20日に発売。扉色にはトレンドを反映したくすみのあるニュアンスカラーの木目柄や石目柄をラインアップし、異なる2色を組み合わせたバイカラーのコーディネートも選べる。



■立川ブラインド工業、「プレイス」「プレイススウィング」間仕切にブラックカラー

・パネルカラーに、トレンドの黒を基調としたインテリアスタイルに合わせやすい「ブラック」を新たに追加。モダンスタイルやインダストリアルな空間に調和し、店舗はもちろん、ダークカラーを基調としたオフィス空間や住宅にも馴染みやすい。

